

» ファンドの目的

当ファンドの投資目的は、長期的なトータル・リターンの追求です。

» ファンド概要

|                        |              |
|------------------------|--------------|
| ファンドティッカー              | LALT         |
| ISIN                   | US33740F4900 |
| CUSIP                  | 33740F490    |
| iNAVティッカー              | LALTIV       |
| ファンド設定日                | 2023/01/31   |
| 30日SEC利回り <sup>†</sup> | 5.29%        |
| 主要取引所                  | NYSE Arca    |

» 手数料および費用

|               |       |
|---------------|-------|
| 運用報酬          | 0.20% |
| 取得したファンドの手数料等 | 0.98% |
| 総経費率          | 1.18% |

» ファンド詳細

- » 当ファンドは、主にオルタナティブ資産カテゴリーや戦略（以下「オルタナティブ」）へのエクスポージャーを獲得することにより、その投資目標の達成を目指します。具体的には、上場投資商品「ETP」（ETF、ETN、および現物コモディティや通貨を裏付けとする信託など）への投資を通じて行います。
- » First Trust Advisors L.P.が当ファンドの投資顧問を務め、ポートフォリオの運用を行います。投資判断は投資委員会によって行われ、同委員会はダイナミックなアプローチを通じてポートフォリオに組み入れるETPを選定します。
- » 投資プロセスでは、まずオルタナティブ資産カテゴリーや戦略、およびそれらを提供するETPを特定します。その後、以下のプロセスを経てポートフォリオが構築されます。
  - ETPの特性評価：候補となる各ETPについて、伝統的な資産クラスとの相関、トータルリターンの特性、リターンの標準偏差、その他投資顧問が重要と判断するエクスポージャーなど、複数の特性に基づき評価を行います。
  - マクロ経済分析：投資顧問は市場関連データを活用して広範なマクロ経済情勢を分析し、その分析結果を基に、ファンドのポートフォリオにおけるエクスポージャーの最適な配分を決定します。
  - ポートフォリオの構築：投資顧問は、リスクとリターンに関する様々な要素を検討するために、複数のポートフォリオ案を作成します。このプロセスにより、ファンドの運用目標、リスク環境、およびコンプライアンス・ガイドラインに沿ったポートフォリオの選定が可能になります。なお、本ファンドは、広範な株式や債券を保有するETPに投資する場合があります。
  - 継続的なモニタリング：リバランス後のポートフォリオに基づく実績の要因分析（アトリビューション分析）を行い、プロセス管理および改善のためのフィードバック・メカニズムとして活用します。

» パフォーマンス概要(%)

|                                           | 3ヶ月   | 年初来   | 1年    | 3年    | 5年 | 10年 | 設定来   |
|-------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|----|-----|-------|
| ファンド・パフォーマンス*                             |       |       |       |       |    |     |       |
| 基準価額(NAV)                                 | -1.14 | 7.79  | 17.20 | 9.61  | —  | —   | 8.20  |
| 市場価格                                      | -0.89 | 8.06  | 17.50 | 9.70  | —  | —   | 8.28  |
| 指数パフォーマンス**                               |       |       |       |       |    |     |       |
| HedgeIndex Composite Index                | 5.69  | 7.22  | 15.09 | 10.62 | —  | —   | 9.28  |
| ICE BofA 3-month U.S. Treasury Bill Index | 0.89  | 1.74  | 3.84  | 4.64  | —  | —   | 4.65  |
| S&P 500® Index                            | 15.20 | 10.21 | 22.32 | 20.61 | —  | —   | 21.26 |

» 年次トータルリターン(%)

|                                           | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024  | 2025  | 年初来   |
|-------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| LALT                                      | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 8.76  | 10.70 | 7.79  |
| HedgeIndex Composite Index                | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 8.28  | 12.41 | 7.22  |
| ICE BofA 3-month U.S. Treasury Bill Index | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 5.25  | 4.18  | 1.74  |
| S&P 500® Index                            | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 25.02 | 17.88 | 10.21 |

» 3年間の統計

|                            | 標準偏差(%) | アルファ | ベータ  | シャープレシオ | 相関関係 |
|----------------------------|---------|------|------|---------|------|
| LALT                       | 5.06    | 1.69 | 0.54 | 0.94    | 0.55 |
| HedgeIndex Composite Index | 5.25    | —    | 1.00 | 1.08    | 1.00 |

モーニングスター総合評価



マルチストラテジー・カテゴリーに属する105ファンドのうち、当ファンドはリスク調整後リターンに基づき、4つ星（105ファンド中、3年）と評価されました。§

引用されているパフォーマンスデータは過去のもので、過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) から確認できます。

<sup>†</sup> 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。手数料の軽減及び費用の払戻しの影響を含みます。

\*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

\*\*掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

# ファーストトラスト・マルチ戦略・オルタナティブETF

2026/6/30

## » ポートフォリオ情報

|       |   |
|-------|---|
| 保有証券数 | 7 |
|-------|---|

## » 上位保有10銘柄(%)

|                                                      |       |
|------------------------------------------------------|-------|
| First Trust Managed Futures Strategy Fund            | 21.58 |
| First Trust Long/Short Equity ETF                    | 21.51 |
| First Trust Alternative Absolute Return Strategy ETF | 21.50 |
| First Trust Low Duration Opportunities ETF           | 10.51 |
| Franklin Systematic Style Premia ETF                 | 9.48  |
| First Trust Global Tactical Commodity Strategy Fund  | 8.02  |
| iShares 7-10 Year Treasury Bond ETF                  | 7.49  |

## » ファンドの構成(%)

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| Commodities                | 29.50 |
| Managed Futures            | 21.56 |
| Hedged Equity              | 21.49 |
| Opportunistic Fixed Income | 17.98 |
| Other                      | 9.47  |

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、**First Trust Japan (www.ftportfolios.jp)** にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

## リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

資産担保証券は債券証券の一種であり、一般的に米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされており、特に景気後退期には、原資産またはローンのデフォルトリスクにさらされます。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

バンクローンへの投資は、他の債券と同様のリスクを伴いますが、公開情報が限られていることや、ローンの借り手がレバレッジをかけられ、市場や経済状況の変化により悪影響を受ける傾向があるため、リスクが高まる可能性があります。銀行ローンの流通市場は、不規則な取引活動、広範なビッド/アスクスプレッド、および取引決済期間の延長の対象となる可能性があります。

金利低下局面において、発行体が高利回りの債券をコールした場合、ファンドは低金利での資金運用を余儀なくされ、ファンドの収入が減少する可能性があります。

ファンドおよび子会社の清算ブローカーが破綻または倒産した場合、ファンド資産の大幅な損失につながる可能性があります。

担保付きローン債務（以下「CLO」）には、予想外の投資結果として、担保証券からの分配が利息やその他の支払いを行うのに十分でない可能性、担保の質の低下や債務不履行に陥る可能性、CLOへの投資が他のクラスやトランシェに劣後している可能性、投資時に証券の複雑な構造が十分に理解されており、発行体との間に紛争が生じる可能性など、さらなるリスクが伴います。

コモディティ価格には大きく変動する可能性があり、コモディティへのエクスポージャーは、ファンドの株式の価値を急速かつ予測不可能な方法で下落または変動させる可能性があります。

コモディティの価格に連動する投資は投機的と見なされる場合があり、ファンドは伝統的な証券への投資よりも変動が高い可能性があります。

商品先物取引委員会が設定したポジション制限を超えないように、ファンドは不利な時期または価格で商品契約のポジションを清算しなければならない場合があり、その結果、ファンド資産が大幅に失われる可能性があります。

コモディティ・トラストは、1940年法に基づく投資会社として登録されていません。そのため、当該トラストの投資家は、登録投資会社の投資家に提供されるすべての保護を享受することはできません。

ファンドは、その資産の相当部分を少数のETFに投資する場合があります。その結果、1つまたは複数のETFの価値や運用実績が低下すると、ファンドの純資産価額およびお客様の投資に重大な悪影響が及ぶ可能性があります。ファンドの運用実績は、これらETFの運用実績に大きく左右されることになります。さらに、ファンドがあるETFの発行済株式の相当部分を保有している場合、ファンドによる売買が、当該ETFの規模、市場価格、流動性、売値と買値の差（スプレッド）、ポートフォリオの回転率、取引コスト、税務効率、および組入有価証券を有利な条件で取引する能力に影響を及ぼす可能性があります。こうしたリスクは、比較的新しいETFにおいてより大きくなる可能性があります。

ファンドは、運用会社（アドバイザー）が運用を行う、または運用会社と関連のあるETPに投資する場合があります。これには、運用会社が投資顧問を務めるETPへの投資を促す経済的インセンティブが関与している可能性があります。運用会社は、特定の期間において手数料がより低い、あるいは運用実績がより良好な非関連のETPが存在する場合であっても、関連のあるETPに投資することがあります。

転換社債は、株式証券と債券の両方に関連するリスクにさらされています。転換社債の価値は、原株の市場価値によって上下する場合もあれば、発行体の金利や信用力の变化によって変動する場合もあります。

ファンドは、取引相手がその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な財務的損失が生じる可能性があります。

債務証券の発行者、またはその他の債務者が配当、利息、および/または元本の支払支払期日を守れない、または行う意思がない場合、その結果、証券の価値が下落する可能性があります。

クレジット・デフォルト・スワップへの投資は、ファンドが参照債務に直接投資した場合よりも大きなリスクを伴います。これらのリスクには、一般市場リスク、流動性リスク、カウンターパーティリスク、クレジットリスク、レバレッジリスクが含まれます。

信用格付機関が付与する格付は、当該企業の意見であり、信用力の絶対的な基準ではなく、有価証券のリスクを評価するものではありません。信用格付けを決定するプロセスにおける欠点や非効率性は、ファンドが保有する証券の信用格付けや、その認識または実際の信用リスクに悪影響を及ぼす可能性があります。

為替レートや米国以外の通貨の相対価値の変動は、ファンドの投資価値やファンドの株式の価値に影響を与える可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

預託証券は、主要な取引市場における原資産株式よりも流動性が低く、分配金には手数料がかかる場合があります。保有者は議決権が限られている場合があり、特定の国における投資制限がその価値に悪影響を及ぼす可能性があります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリュエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、市場の特定の国、企業、業界、またはセクターでのみ発生する場合もあります。

ファンドは他のETFの株式に投資する場合がありますが、これには、原資産ファンドへの直接投資には存在しない追加費用が含まれます。さらに、ファンドの運用パフォーマンスとリスクは、原資産ファンドの運用パフォーマンスとリスクに関連している場合があります。

上場投資証券（ETN）は無担保債務であり、発行体の信用格付けの引き下げにより評価額が影響を受ける可能性があります。さらに、ETNの価値は、満期までの時間、ETNの需給水準、原資産のボラティリティと流動性の欠如、金利の変動、および原資産に影響を与えるその他の経済的または政治的な出来事によって影響を受ける可能性があります。

エクステンション・リスクとは、金利が上昇すると、発行者（またはその他の義務を負う当事者）による特定の債務の返済が予想よりも遅くなり、これらの債務証券の価値が下落するリスクです。金利の上昇は、債券のデューレーションを長期化する傾向があり、その市場価値は金利変動に対してより敏感になります。

変動利付証券は、証券のクーポンレートが参照レートの水準に基づいて変動するように構成されています。その結果、変動金利証券のクーポンは、金利が下がると一般的に減少し、ファンドは証券から受け取る収入が減少します。変動金利証券のクーポンレートは、証券の条件に従って定期的にリセットされます。その結果、金利が上昇する環境下では、利率のリセット頻度が低い変動金利証券は、市場金利の変動に遅れをとる可能性があります。

次ページにて追加リスクをご覧ください。

# ファーストトラスト・マルチ戦略・オルタナティブETF

2026/6/30

## リスクに関する考慮事項（続き）

先渡契約の市場は実質的に規制されておらず、長期間の非流動性、異常に高い取引量、および政治的介入などの他の悪影響を経験する可能性があります。先渡契約は、クレジットリスク、為替リスク、市場リスク、金利リスクなど、ファンドの基礎となる参照およびそれに伴うリスクに対するファンドのリスクエクスポージャーを増加させると同時に、カウンターパーティリスク、流動性リスク、評価リスクなどにもさらす可能性があります。

先物契約のポジションのリスクは、ファンドが預ける必要のある証拠金の比較的低いレベルと比較して非常に大きい場合があり、先物契約の比較的小さな価格変動は、証拠金の預金のサイズに比べて即時に多額の損失をもたらす可能性があります。

ハイイールド債、または「ジャンク債」は、格付けの高い証券よりも流動性が低く、市場の変動や損失リスクが大きい場合、投機的と考えられています。

ファンドの収益は、金利の低下やポートフォリオにデフォルトが発生した場合に減少する可能性があります。

インフレの進行によりファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

大規模な資本企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。

レバレッジによって当初の投資額を超える損失の発生や、また損失率も加速する可能性があります。レバレッジは資産または資産クラスに対するファンドのエクスポージャーの増減の影響を、場合によって大幅に拡大する傾向があるため、ファンドの株式価値が変動し、市場の変動に敏感になる可能性があります。

特定のファンド投資は、転売、店頭取引、または取引量に限定がある場合、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメーカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメーカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

公表された取引の対象となっている企業への投資には、取引条件の再交渉が行われたり、完了までの期間が当初の予定より長引いたり、あるいは取引が最終的に完了しなかったりするリスクが伴います。こうした事態が生じた場合、ファンドが損失を被る可能性があります。合併アービトラージ戦略におけるリスクとリターンとの関係は通常、非対称的であり、取引が不成立となった場合の損失額が、成立した場合の利益額を大幅に上回ることが多々あります。

マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）は、国際情勢、省エネルギーの取り組み、税制、価格統制、その他の各国の規制政策に起因する価格や供給量の変動など、特定のリスクにさらされています。さらに、MLPが法人として課税されるリスクもあり、その場合、当該MLPからのリターンが減少する可能性があります。

ファンドがMLPへの投資から得られる利益は、当該MLPが米国連邦所得税法上「パートナーシップ」として扱われるかどうかによって大きく依存します。現行の税法の変更や、特定のMLPの事業構成の変化により、当該MLPが所得税法上「法人」として扱われることになった場合、当該MLPは所定の法人税率で所得税を納付することが求められることになります。

住宅ローン関連の証券は、不動産の価値に影響を与える不利な経済的、政治的、または規制上の事象の影響を受けやすくなります。

地方債の価値は、その地域の政治、経済状況、および開発によって不利な影響を受ける可能性があります。地方債からの収入は税法の不利な変更、内国歳入庁または州税務当局による不利な解釈、または発行体のコンプライアンス違反行為などにより、課税対象と宣言される可能性があります。

非政府発行体が提供する有価証券の支払いについて、政府機関による保証はないため、発行体の信用リスクにさらされます。非政府機関系証券は「店頭」で取引されることが多く、市場が限られているため、評価が難しくなる可能性があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する可能性があります。その結果、ファンドがこれらの発行体の1つまたは複数に影響を与える単一の不利な経済的、または規制的事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体に高く集中する可能性があります。

米国以外の証券発行体は、通貨変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国以外の発行体に影響を与える為替管理の制限など、さらなるリスクにさらされます。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時間にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時期、または許容可能な価格で取引を終了できるという保証はありません。

優先証券は、普通株式と債券の両方の特性の一部を兼ね備えています。優先株は通常、企業収益に対する優先順位という点で他の債務商品に劣後しているため、それらの債務商品よりも大きな信用リスクにさらされます。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

期限前返済リスクとは、債務証券の発行者が予定された満期日より前に元本を返済するリスクです。前払いを認める債務証券は、ファンドが前払いの収益を低金利で再投資する必要がある場合があるため、金利が下がる期間中の利益の可能性が低くなる可能性があります。

不動産投資信託（以下「REIT」）は、不動産市場の変化、空室率と競争、金利の変動、景気後退など、不動産への投資リスクにさらされます。金利の上昇は、通常、REITの将来の収益源の現在価値を低下させ、不動産の購入や修繕の資金調達をより高くする可能性があります。REIT株の投資家が金利上昇を予想または経験した場合、ファンドの価値は一般的に低下します。

ファンドは、制限付き証券を短期間で売却できない場合、または現在価値を下回る価格でのみ売却できない場合があります。

ローンを発行する企業はレバレッジが高い傾向にあるため、利息の繰り延べ、債務不履行、および/または破産のリスクの影響を受けやすくなります。ローンは通常、投資適格を下回る格付けですが、格付けされていない場合もあります。その結果、これらのローンに関連するリスクは、ハイイールド債券のリスクと似ています。シニアローン市場では、貸し手の保護が弱いローンが大幅に増加しており、将来の回復価値や取引水準に影響を与える可能性があります。

空売りは特別なリスクを生み出し、その結果として利益または損失の増加とリターンの変動につながる可能性があります。空売りの損失は、空売りされた証券の価値の上昇から発生するため、そのような損失は理論的に無制限です。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な展開の影響をより受ける可能性があります。

中小資本企業の証券は、より大規模で確立された企業よりも価格の変動が大きく、流動性が低下する可能性があります。

ソブリン債への投資には、債務の返済を管理する政府当局が、期限までに元本や利息を返済する意思がない、または返済できない可能性があるため、特別なリスクが伴います。経済が不確実な時期においては、これらの証券の価格は、社債やその他の政府債務の価格よりも変動する可能性があります。

スワップ契約は、証券への直接投資よりも大きなリスクを伴う場合があり、原資産または資産が予想どおりに機能しない場合、損失につながる可能性があります。さらに、多くのスワップは店頭で取引され、流動性が低いと見なされる場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

連邦政府機関および米国政府が後援機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

ファンドは、市場全体よりもボラティリティが高い証券に投資する場合があります。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファーストトラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したりものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

## 定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。凸性は、利回りの変化に対する債券のデュレーションの感度を測定します。HedgeIndexコンボジット指数は、市場を代表するHedgeIndexメイン指数を基に、投資可能なポートフォリオをルールに基づいて測定する、資産加重型のヘッジファンド指数です。ICE BofA 3ヶ月米国財務省証券（T-Bill）指数は、最終満期までの残存期間が約90日の短期米国政府証券で構成されています。S&P 500®指数は、米国大型株市場のパフォーマンスを測定するために用いられる、500社で構成された非運用型（パッシブ）の指数です。

### >> Fund Objective

This actively managed exchange-traded fund seeks to provide long-term total return.

### >> Fund Facts

|                     |              |
|---------------------|--------------|
| Fund Ticker         | LALT         |
| ISIN                | US33740F4900 |
| CUSIP               | 33740F490    |
| Intraday NAV        | LALTIV       |
| Fund Inception Date | 31/1/23      |
| 30-Day SEC Yield†   | 5.29%        |
| Primary Listing     | NYSE Arca    |

### >> Fees and Expenses

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| Management Fees                 | 0.20% |
| Acquired Fund Fees and Expenses | 0.98% |
| Total Expense Ratio             | 1.18% |

### >> Fund Description

- >> The First Trust Multi-Strategy Alternative ETF seeks to accomplish its objective by primarily gaining exposure to alternative asset categories and strategies (“alternatives”) by investing in exchange-traded products (“ETPs”) (including ETFs, exchange-traded notes (“ETNs”) and trusts backed by physical commodities or currencies).
- >> First Trust Advisors L.P. is the investment advisor to the fund and manages the fund’s portfolio. Investment decisions are made by an Investment Committee, who select the ETPs included in the portfolio through a dynamic approach.
- >> The investment process first identifies alternative asset categories or strategies and the ETPs in which those asset categories and strategies are offered. Then the portfolio is constructed through a process, which includes:
  - Evaluating ETP Characteristics: Each potential ETP is then evaluated on a number of characteristics, including its correlation to traditional asset classes, its total return profile, its standard deviation of returns and other exposures that the investment advisor believes are relevant.
  - Macroeconomic Analysis: The investment advisor incorporates market-related data to analyze the broader macroeconomic landscape, which informs the investment advisor’s decision on how best to position the exposures in the fund’s portfolio.
  - Portfolio Construction: The investment advisor then constructs multiple prospective portfolios to help evaluate various risk/return considerations. This process facilitates the investment advisor’s selection of the fund’s portfolio in accordance with the fund’s portfolio objectives, risk environment and compliance guidelines. The fund may invest in ETPs that hold a broad range of equity and fixed income securities.
  - Continuous Monitoring: Attribution analysis of realized performance based upon rebalanced portfolio as feedback mechanism for process control and improvement.

### >> Performance Summary (%)

|                                           | 3 Month | YTD   | 1 Year | 3 Year | 5 Year | 10 Year | Since Fund Inception |
|-------------------------------------------|---------|-------|--------|--------|--------|---------|----------------------|
| <b>Fund Performance*</b>                  |         |       |        |        |        |         |                      |
| Net Asset Value (NAV)                     | -1.14   | 7.79  | 17.20  | 9.61   | —      | —       | 8.20                 |
| Market Price                              | -0.89   | 8.06  | 17.50  | 9.70   | —      | —       | 8.28                 |
| <b>Index Performance**</b>                |         |       |        |        |        |         |                      |
| HedgeIndex Composite Index                | 5.69    | 7.22  | 15.09  | 10.62  | —      | —       | 9.28                 |
| ICE BofA 3-month U.S. Treasury Bill Index | 0.89    | 1.74  | 3.84   | 4.64   | —      | —       | 4.65                 |
| S&P 500® Index                            | 15.20   | 10.21 | 22.32  | 20.61  | —      | —       | 21.26                |

### >> Calendar Year Total Returns (%)

|                                           | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024  | 2025  | YTD   |
|-------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| LALT                                      | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 8.76  | 10.70 | 7.79  |
| HedgeIndex Composite Index                | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 8.28  | 12.41 | 7.22  |
| ICE BofA 3-month U.S. Treasury Bill Index | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 5.25  | 4.18  | 1.74  |
| S&P 500® Index                            | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | 25.02 | 17.88 | 10.21 |

### >> 3-Year Statistics

|                            | Standard Deviation (%) | Alpha | Beta | Sharpe Ratio | Correlation |
|----------------------------|------------------------|-------|------|--------------|-------------|
| LALT                       | 5.06                   | 1.69  | 0.54 | 0.94         | 0.55        |
| HedgeIndex Composite Index | 5.25                   | —     | 1.00 | 1.08         | 1.00        |

Overall Morningstar Rating™



Among 105 funds in the Multistrategy category.  
This fund was rated 4 stars/105 funds (3 years) based on risk adjusted returns.§

*Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp).*

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

\*NAV returns are based on the fund’s net asset value which represents the fund’s net assets (assets less liabilities) divided by the fund’s outstanding shares. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price (“NBBO”) as of the time that the fund’s NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

\*\*Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

## >> Portfolio Information

|                    |   |
|--------------------|---|
| Number Of Holdings | 7 |
|--------------------|---|

## >> Top Holdings (%)

|                                                      |       |
|------------------------------------------------------|-------|
| First Trust Managed Futures Strategy Fund            | 21.58 |
| First Trust Long/Short Equity ETF                    | 21.51 |
| First Trust Alternative Absolute Return Strategy ETF | 21.50 |
| First Trust Low Duration Opportunities ETF           | 10.51 |
| Franklin Systematic Style Premia ETF                 | 9.48  |
| First Trust Global Tactical Commodity Strategy Fund  | 8.02  |
| iShares 7-10 Year Treasury Bond ETF                  | 7.49  |

## >> Fund Composition (%)

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| Commodities                | 29.50 |
| Managed Futures            | 21.56 |
| Hedged Equity              | 21.49 |
| Opportunistic Fixed Income | 17.98 |
| Other                      | 9.47  |

*You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan Co., Ltd. at [www.ftportfolios.jp](http://www.ftportfolios.jp) to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.*

## Risk Considerations

**You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.**

Asset-backed securities are a type of debt security and are generally not backed by the full faith and credit of the U.S. government and are subject to the risk of default on the underlying asset or loan, particularly during periods of economic downturn.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

Investments in bank loans are subject to the same risks as other debt securities, but the risks may be heightened because of limited public information available and because loan borrowers may be leveraged and tend to be more adversely affected by changes in market or economic conditions. The secondary market for bank loans may be subject to irregular trading activity, wide bid/ask spreads and extended trade settlement periods.

During periods of falling interest rates if an issuer calls higher-yielding debt instruments, a fund may be forced to invest the proceeds at lower interest rates, likely resulting in a decline in the fund's income.

The failure or bankruptcy of a fund's and the subsidiary's clearing broker could result in substantial loss of fund assets.

Collateralized loan obligations ("CLOs") carry additional risks, including the possibility that distributions from collateral securities will not be adequate to make interest or other payments, the quality of the collateral may decline in value or default, the possibility that the investments in CLOs are subordinate to other classes or tranches, and the complex structure of the security may not be fully understood at the time of investment and may produce disputes with the issuer or unexpected investment results.

Commodity prices can have significant volatility, and exposure to commodities can cause the value of a fund's shares to decline or fluctuate in a rapid and unpredictable manner.

Investments linked to the prices of commodities may be considered speculative and subject a fund to greater volatility than investments in traditional securities.

To avoid exceeding position limits set by the Commodity Futures Trading Commission, a fund may have to liquidate commodity contract positions at disadvantageous times or prices which may result in substantial loss of fund assets.

A Commodity Trust is not registered as an investment company under the 1940 Act and therefore, investors in such trusts will not have all the protections offered to investors in registered investment companies.

A fund may invest a significant percentage of its assets in a small number of ETFs. As a result, declines in the value or performance of one or more ETFs could have a significant negative impact on a fund's net asset value and your investment. A fund's performance will be largely dependent on the performance of these ETFs. In addition, if a fund holds a significant percentage of an ETF's outstanding shares, its purchases and sales may affect the ETF's size, market price, liquidity, bid/ask spreads, portfolio turnover, transaction costs, tax efficiency and ability to trade underlying securities advantageously. These risks may be greater for newer ETFs.

The fund may invest in ETPs that are advised by or affiliated with the Advisor providing a financial incentive for the fund to invest in ETPs for which it also serves as investment advisor. The Advisor may invest in an affiliated ETP even in circumstances where an unaffiliated ETP may have lower fees or better performance over certain time periods.

A convertible security is exposed to risks associated with both equity and debt securities. The value of convertibles may rise and fall with the market value of the underlying stock or vary with changes in interest rates and credit quality of the issuer.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

An issuer or other obligated party of a debt security may be unable or unwilling to make dividend, interest and/or principal payments when due and the value of a security may decline as a result.

An investment in credit default swaps involves greater risks than if a fund had invested in the reference obligation directly. These risks include general market, liquidity, counterparty, credit and leverage risks.

Ratings assigned by a credit rating agency are opinions of such entities, not absolute standards of credit quality and they do not evaluate risks of securities. Any shortcomings or inefficiencies in the process of determining credit ratings may adversely affect the credit ratings of the securities held by a fund and their perceived or actual credit risk.

Changes in currency exchange rates and the relative value of non-US currencies may affect the value of a fund's investments and the value of a fund's shares.

Investments linked to the prices of currencies may be considered speculative and subject a fund to greater volatility than investments in traditional securities.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

Depository receipts may be less liquid than the underlying shares in their primary trading market and distributions may be subject to a fee. Holders may have limited voting rights, and investment restrictions in certain countries may adversely impact their value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk.

Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

A fund may invest in the shares of other ETFs, which involves additional expenses that would not be present in a direct investment in the underlying funds. In addition, a fund's investment performance and risks may be related to the investment performance and risks of the underlying funds.

Exchange-traded notes ("ETNs") are unsecured debt obligations whose valuation may be impacted by a downgrade in the issuer's credit rating. Additionally, the value of the ETN may be affected by time to maturity, the level of supply and demand for the ETN, volatility and lack of liquidity of the underlying market, changes in interest rates, and other economic or political events that affect the underlying market or assets.

Extension risk is the risk that, when interest rates rise, certain obligations will be paid off by the issuer (or other obligated party) more slowly than anticipated, causing the value of these debt securities to fall. Rising interest rates tend to extend the duration of debt securities, making their market value more sensitive to changes in interest rates.

Floating rate securities are structured so that the security's coupon rate fluctuates based upon the level of a reference rate. As a result, the coupon on floating rate securities will generally decline in a falling interest rate environment, causing a fund to experience a reduction in the income it receives from the security. A floating rate security's coupon rate resets periodically according to the terms of the security. Consequently, in a rising interest rate environment, floating rate securities with coupon rates that reset infrequently may lag behind the changes in market interest rates.

Please see additional risks on the following page.

## Risk Considerations (continued)

The market for forward contracts is substantially unregulated and can experience lengthy periods of illiquidity, unusually high trading volume and other negative impacts, such as political intervention. Forward contracts can increase a fund's risk exposure to underlying references and their attendant risks, such as credit risk, currency risk, market risk, and interest rate risk, while also exposing a fund to counterparty risk, liquidity risk and valuation risk, among others.

The risk of a position in a futures contract may be very large compared to the relatively low level of margin a fund is required to deposit and a relatively small price movement in a futures contract may result in immediate and substantial loss relative to the size of margin deposit.

High yield securities, or "junk" bonds, are less liquid and are subject to greater market fluctuations and risk of loss than securities with higher ratings, and therefore, are considered to be highly speculative.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Investments in companies that are the subject of a publicly announced transaction carry the risk the transaction is renegotiated, takes longer to complete than originally planned and that the transaction is never completed. Any such event could cause a fund to incur a loss. The risk/reward payout of merger arbitrage strategies typically is asymmetric, with the losses in failed transactions often far exceeding the gains in successful transactions.

Master limited partnerships ("MLPs") are subject to certain risks, including price and supply fluctuations caused by international politics, energy conservation, taxes, price controls, and other regulatory policies of various governments. In addition, there is the risk that MLPs could be taxed as corporations, resulting in decreased returns from such MLPs.

The benefit a fund derives from its investment in MLPs is largely dependent on their being treated as partnerships for U.S. federal income tax purposes. A change in current tax law or a change in the underlying business mix of a given MLP could result in an MLP being treated as a corporation for income tax purposes which would result in the MLP being required to pay income tax at the applicable corporate tax rate.

Mortgage-related securities are more susceptible to adverse economic, political or regulatory events that affect the value of real estate.

The values of municipal securities may be adversely affected by local political and economic conditions and developments. Income from municipal securities could be declared taxable because of, among other things, unfavorable changes in tax laws, adverse interpretations by the Internal Revenue Service or state tax authorities, or noncompliant conduct of an issuer.

There are no government or agency guarantees of payments in securities offered by non-government issuers, therefore they are subject to the credit risk of the issuer. Non-agency securities often trade "over-the-counter" and there may be a limited market for them making them difficult to value.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

Preferred securities combine some of the characteristics of both common stocks and bonds.

Preferred stocks are typically subordinated to other debt instruments in terms of priority to corporate income, and therefore will be subject to greater credit risk than those debt instruments.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Prepayment risk is the risk that the issuer of a debt security will repay principal prior to the scheduled maturity date. Debt securities allowing prepayment may offer less potential for gains during a period of declining interest rates, as a fund may be required to reinvest the proceeds of any prepayment at lower interest rates.

Real Estate Investment Trusts ("REITs") are subject to the risks of investing in real estate, including, but not limited to, changes in the real estate market, vacancy rates and competition, volatile interest rates and economic recession. Increases in interest rates typically lower the present value of a REIT's future earnings stream and may make financing property purchases and improvements more costly. The value of a fund will generally decline when investors in REIT stocks anticipate or experience rising interest rates.

A fund may be unable to sell a restricted security on short notice or only sell them at a price below current value.

Companies that issue loans tend to be highly leveraged and thus are more susceptible to the risks of interest deferral, default and/or bankruptcy. Loans are usually rated below investment grade but may also be unrated. As a result, the risks associated with these loans are similar to the risks of high-yield fixed income instruments. The senior loan market has seen a significant increase in loans with weaker lender protections which may impact recovery values and/or trading levels in the future.

Short selling creates special risks which could result in increased gains or losses and volatility of returns. Because losses on short sales arise from increases in the value of the security sold short, such losses are theoretically unlimited.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Securities of small- and mid-capitalization companies may experience greater price volatility and be less liquid than larger, more established companies.

Investments in sovereign bonds involve special risks because the governmental authority that controls the repayment of the debt may be unwilling or unable to repay the principal and/or interest when due. In times of economic uncertainty, the prices of these securities may be more volatile than those of corporate debt or other government debt obligations.

Swap agreements may involve greater risks than direct investment in securities and could result in losses if the underlying reference asset does not perform as anticipated. In addition, many swaps trade over-the-counter and may be considered illiquid.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

A fund may invest in securities that exhibit more volatility than the market as a whole.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan Co., Ltd. is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

## Definitions

**Standard Deviation** is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **HedgeIndex Composite Index** is an asset-weighted hedge fund index that provides a rules-based measure of an investable portfolio derived from the market leading HedgeIndex Main Index. The **ICE BofA 3-month U.S. Treasury Bill Index** contains short-term U.S. Government securities with a remaining term to final maturity of about 90 days. The **S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance.

## ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではありません。記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026081701

# Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会  
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）  
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp